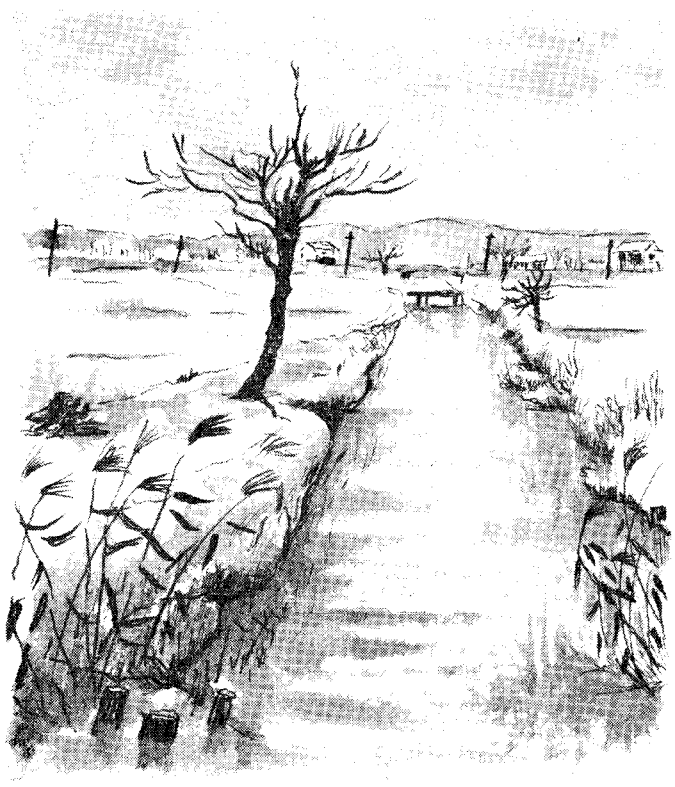
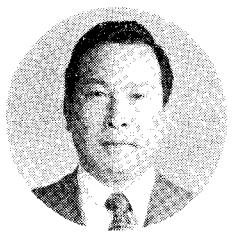
こすど公民館報
発行所　小須戸町公民館
発行人　成田常信
発行日　毎月15日
　　一部15円
印刷所　昭栄堂印刷所



＝随筆シリーズ＝

Y君のこと

～小須戸中学校長　五十嵐俊英～



終戦時、中国から引き揚げの際、肉親と離別し現地に残された孤児の人達が、肉親探しに来訪されているニュースが放映されている。その悲痛な訴えを聞きながら、胸のしめつけられる思いと戦争の傷痕の深さに、心を痛ませている。そして、三十六年前に担任したY君のことがまざまざとよみがえり、涙がこみあげてくる。

Y君も、満蒙開拓団の引き揚げ孤児の一人である。彼は引き揚げの途中両親と妹に死別し、現地に残されるところを運よく叔父（父の弟…当時従軍していた）に見つけられ一緒に引き揚げて来た（叔父も帰郷後病死）。父の実家に落着いた彼は、祖父母の世話で、私の学級に編入学をして来た。小学校三年生の秋であった。

何しろ、想像を絶する苦難と悲惨な逃避行の一年有余の引き揚げ生活で無邪気な童心は失せ、野性動物のような警戒心と本能的な攻撃心の固まりで、担任の私や級友となかなか馴染めず、けんかをしてはかみつく、叱られれば、家へ逃げ帰る。空腹になれば友だちの弁当を盗み喰うという荒れた生活の連続であった。

しかし、祖父母の肉親の愛情と、学級学校をあげての受入れの努力が次第に彼の心を落着かせ、学校生活にもとけ込んでいった。何しろ、一年間の学習の空白があるので、個別指導にも特別力を入れた。もともと能力もあり、四年生の半ばには、級友に追いつくことができた。

中学二年の春、私を訪ねて来た彼は「級友や担任から高校進学をすすめられるが、経済的に豊かでない祖父母が身を粉にして働いて、これまで慈しみ育ててくれている姿と、悲惨な状況の中で死別した両親と妹のことを考えると、一日でも早く就職して独立したい。」と決意を述べた。「高校だけが人生じゃないぞ今までの苦難をのりこえた努力で頑張れば、きっとできる。健康にだけは気をつけて。」と激ましてして住み込んだ市内の金物店の小僧として活躍している。そして毎年正月二日に級友四人は詳細には知る由もないが、着々と主人の信用を得、仲間の店員からも愛され、基礎を固めていったらしい。

彼から突然結婚式の案内状をもらったのは、昭和四十年の秋、彼二十七才であった。

披露宴は、会費制という極めて質素なものであったが、参会者の多いのには驚かされた。会社関係の人々、取引先の来賓それに、中学時代の友人多数と、私を含めた小中学校時代の担任教師と七十名を超す盛況で、彼のその後の成長ぶりに更めて敬服させられた。

媒妁人はK市会議員、新婦は、その媒妁人の会社の社員という可愛いい人であった。現在、奥さんとの間に三人の息子に恵まれ、会社の幹部として活躍している。そして毎年正月二日に級友四人と拙宅を訪れ、酒を酌み交わし人生論や懐古談に時を忘れている。

春の感傷

ぼたん雪が
春告鳥のように
　飛び交うある日
私の冬は終った
次の日春の日が雪を消して
　柔らかい土肌をみせた
今まではいていた私のブーツは
何故かなまめいた春の光には
　ひけめを感じた
からだの一部でさえあったのに
春の光が
　ブーツに
　さめた愛を思わせた
ふと貴君との日日に
　色あせた私の心を
これから貴君とは
　このままでいけるか…
でも私が
　ふるびたブーツをはく頃
いや　その時
赤いブーツを求めていたら
又貴君との愛が……　（四郎）

文化講演会第一弾――人形劇公演のご案内――

日時＝四月一日（木）午後七時より
会場＝中央公民館三階大ホール
主催＝小須戸分館
※人形劇の第一人者、渡辺豊先生の公演です。多数ご参加下さい。

大学進学資金が借りられます

～小須戸町奨学資金貸与制度～

進学のシーズンを迎えましたが、小須戸町では大学生（短期大学を除く）を対象にした、奨学金貸与制度があります。この制度は優秀な学生が経済的理由のために、就学が困難な場合学資を貸与して、教育の機会均等を図り、社会の健全な発展に尽す有能な人材を育成することを目的としたものです。

◇出願の資格
①小須戸町に一年以上居住している世帯の子弟
②人物、学力ともにすぐれ、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる者。

◇貸与月額、貸予期間
①貸与月額　二万五千円
②貸与期間は、貸与決定の月から在学する学校の最短修業年限の卒業期まで。

◇出願の手続
①五十七年度貸与希望者は、奨学金貸与申込書を四月二十四日までに教育委員会へ提出して下さい。
②申込用紙は教育委員会にあります。

◇資格者の決定
教育委員会では、出願者の人物、健康状態、優秀性、学資支弁の困難な程度などについて検討して選考し適格度の高い者から、町長が採用を決定します。

◇その他
①奨学金の貸与は、年二十名以内とする。
②小須戸町奨学金以外の公私設の奨学金との、併給は禁止する。
③奨学金には利息はつけない。
④不明な点、疑問の点がありましたら教育委員会に問い合わせて下さい。

小・中学校（在校生）
就学援助の申請は3月20日までです

受給希望者、詳細についてのお問い合せ等は、教育委員会へどうぞ。
（電話＝31111 内線51）

父親の機嫌

詫摩武俊（東京都立大学教授・心理学）

非行少年として補導されたものが、自分の家庭を顧みておもしろかったとか、楽しかったということはあまりありません豊かに、不自由のない全体の空気を大きく左右します。

父親の機嫌がよければ概して母親も機嫌がよく子どもに明るい態度で接するようになるものです家庭外で仕事をもつ父親が帰宅するときには身体的にも精神的にもかなり疲れているのが普通です。

したがっていつもニコニコしているようにというのは無理なことかもしれません。

しかし父親は自分の心の状態が家庭の雰囲気に影響することをよく承知していてほしいと思います。

帰宅した父親が職業上の地位など忘れて機嫌よく心を開いていれば、自然に子どもとの心の交流もできてきます。

家庭の中に対話が必要だといわれ、それを促すために標語までつくった市役所もあるそうです。

しかしお互いに心を温かくするような対話というものは「さあこれから対話をしよう」といって始まるものではありません。

お互いに好意をもっているものが気持ちよく話すことによって心の理解は深まるのです。

このことは親と子についても同じようにあてはまります。

父親が出張で不在だから楽しいという家庭よりも、不在だからつまらないという家庭の方に非行少年は出にくいのです。

家庭での父親は、まず機嫌がよく、子どもから好かれていることが必要なのです。

子供から離すな！そらすな！目と心

～水の事故防止運動～

用水堀や、小川、消防池などでの事故が多発する時期です。危い遊びをしている子供を見かけたら、注意をしてあげてください。

幼い生命をみんなで守りましょう。

新潟県立新潟高等学校通信制生徒募集について

昭和五十七年度新潟県立新潟高等学校の生徒を次により募集します。

なお、高等学校通信制は、主として自宅で受ける通信教育によって四年以上在学し、所定の単位を取得すれば高等学校卒業資格が与えられる制度で、毎年三百～四百人が入学しています。

一、応募資格
中学校卒業またはこれと同等以上の資格を有する者、年令問わず

二、募集コース
・卒業コース＝高等学校卒業資格取得を目的とし、第一学年から入学する者。
・編入コース＝高等学校中退者で編入学を希望する者。
・科目別コース＝卒業を目的とせず一部科目のみ復習を希望する者

三、願書受付期間
昭和五十七年二月二十日から四月十日まで

四、選抜方法
出身中学校（高等学校）から提出される書類を主に選考し、試験は行わない。

五、入学案内及び入学願書の請求方法
返信用封筒（あて名明記）に七十円切手をはり左記へ請求する。
（郵便番号九五一）
新潟市関屋下川原町二丁目六三五番地
新潟県立新潟高等学校通信制
TEL（新潟）69－5268

電々だより

◇電話料金のお支払いに口座振替をご利用の方には、金融機関から「振替済のお知らせ」等により振替額をお知らせしていますが、五十七年三月分の電話料金から、振替前に電話局から振替額をご案内するとともに「領収証書」をお届けします。

ご案内の方法は、当月分の振替額を、前月分の領収証書と一葉にしてお知らせします（はがき）

このため、お届けする時期が従来より二週間程度おそくなりますのでご了承下さい。なお、特に従来の時期に領収証書が必要な場合は電話局へご相談下さい。

◇ダイヤル通話のご利用状況については、従来、前月分及び当月分の利用度数によりお知らせしてきましたが、口座振替額の事前案内に際して、金額によりお知らせいたします。

――町の電話局より――
――二六〇〇番（無料）――

☆東北電力よりお願い！

引越しの五日前までに最寄りの東北電力にお電話で結構ですから、次のことをご連絡下さい。

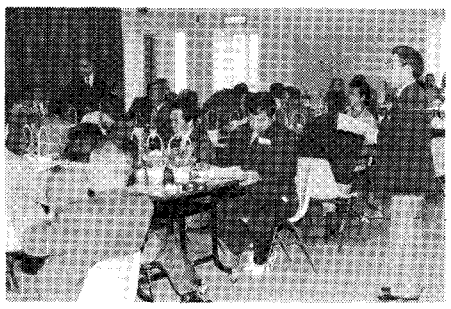
一、領収証に記載してあるご契約番号。
二、おところ、お名前、引越しの日時、引越し先。

毎年五月四日は〝花と緑の日〟
花と緑推進協議会を設立!!
～各界代表者で組織づくり～

去る二月二十四日午後中央公民館大ホールに約八〇名の各界代表者の参加で、小須戸町「花と緑」推進協議会設立総会が机上いっぱい通称ポリヤンの赤、黄、桃、紫に彩られた中で開催された。

当日事務局の町民生活課々長の趣旨説明のあと町長挨拶、そして課長司会で進められ運営要項案が、目的、事業、機関、任務、会議、役員等順次決議された。

内容は初年度約八〇万円の予算により、育苗、ビニールハウス、小型耕運機、噴霧機、土地貸借



種子代その他に使われることになった。

毎年五月四日を「花と緑の日」と定め、町で業者が園芸、盆栽市を開く例年の日と重ねて、春のたけなわに色を添えて、町をあげて花いっぱいの気運に盛り上げることを主眼とした。

町民総参加の「花と緑」の町づくりに取組む姿勢が望ましい形でとの願いがこめられていた。

町の園芸組合から指導を受けながら、中学校、老人クラブの園芸員の協力をもとにして、生産育苗で、町の機関を通して幼稚園、保育所、公園、神社仏閣、町の施設に配布、各町内はフラワーボックス等々、町のいたるところに季節々々の花を咲かせ、町民に花を愛でる心を少しでも理解してもらい「花と緑」の町づくりと、そこに住む人の豊かな情操感覚、情愛をお互いにわかち合う老若男女のきめ細かい人情味溢れる町にしたいという人達の希望とも一致させたいということであった。

来る五月四日を第一回の「花と緑」の日として是非この事業を成功させて、他の市町村への礎石にもしたいということであった。

なお、当日決定した役員は次の方々である。(敬称略)

推進本部（会長）
町長　五十嵐重雄
副会長　老人クラブ連合会長　三浦　保
副会長　町園芸クラブ会長　藤井　徳則
推進委員長　公衆衛生協会長　高山　三治
〃　副委員長　ライオンズクラブ　佐藤　昭五
〃　副委員長　婦人会長　松沢　キヨ
生産委員長　老連福祉部長　高山重太郎
〃　副委員長　中学校長　谷川　健
〃　副委員長　町園芸組合長　藤井万一郎
実施委員長　連合PTA会長　藤山　仙典
〃　副委員長　サッキ会長　長井　孝夫
〃　副委員長　商工会長　山本　年雄

スポーツ少年団大集合!
恒例のミニ運動会行わる
～四チームに分かれ大熱戦～

去る二月二十一日、町民体育館において、恒例のミニ運動会が行われました。

これは、サッカーや柔剣道、太陽の子少年団、中学校の各スポーツ少年団等の団員が、年に一度一堂に会して親睦を図ろうというもので、スポーツ少年団本部の主催で行われたものです。

参加した約二百名の団員を四チームに分け、玉入れや目かくしリレー、おしくらゲーム等の楽しい種目で得点を競い合いました。

最後に、友情と親和を誓い、全員で作った紙ひこうき交歓を行って終了しました。

（写真＝大きいだけでは勝てないよ）

第一回カラオケ大会
優勝は新井田次男さん
～聴衆二百余名熱演に酔う～

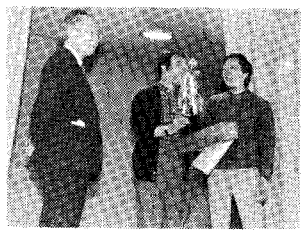
三月十一日夜、中央公民館三階大ホールにおいて第一回カラオケ大会が行われました。

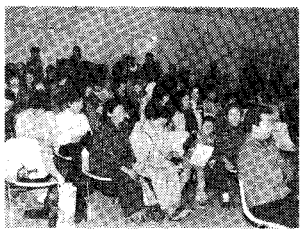
出演者は二十名、最高令が七十才で、一番若い人が十五才という巾広い層から申し込みがありました。五名の審査員が慎重に審査した結果、第一位は矢代田の新井田次男さん、第二位は横川の長沢加代子さん、第三位は横川の長沢美枝子さんに決まりました。

このほかに、ガンバッタで賞、努力賞、熱演賞などの表彰がありました。

主催者側では、もう三回程度開催して上位数名をノミネートし、年度末にグランドチャンピオン大会を行う予定です。

次回をお楽しみに!





ジャズ&クラシック
レコード・コンサートご案内
～主催＝オーディオと音楽を楽しむ会～

◇クラシック
ステレオレコード・
コンサート
一、三月十九日（金）
夜七時半より
一、中央公民館視聴覚室
曲　目
一、ドヴイシー作曲
牧神の午後への前奏曲
二、モーツアルト作曲
アイネクライネ
ナハトムジーク長
調K一二五
三、ベートーヴエン作曲
ピアノ協奏曲第四番
四、ウェーバー作曲
舞踏への勧誘

◇ジャズ
コンサート
日時＝三月二十七日
夜七時半より
会場＝中央公民館二階
視聴覚室

◎昭和五十七年度から、クラシック及びジャズのレコードコンサートは、次のように開催いたします。
・クラシック
毎月第四金曜日
・ジャズ
毎月第四土曜日
・両方とも、会場は中央公民館二階視聴覚室時間は、午後七時三十分からです。
皆様のおいでをお待ちしております。

カラオケクラブ結成!
会員大募集中です

第一回カラオケ大会を主管した〝実行委員会〟で、小須戸町にカラオケクラブを作ることになりました。

カラオケに魅せられた者同志が集い、一緒に楽しもうというものです。

歌の上手、下手は問いませんので、ご希望の方は、中央公民館内事務局へハガキでお申込み下さい。住所、氏名、年令、職業、電話番号を必ずお書き下さい。

ただし、会場や設備等の都合で、今すぐにでもクラブ活動ができるという訳にはいきませんのであらかじめご了承下さい。

なお、第二回目のカラオケ大会は、六月下旬に計画しておりますので、ふるってご参加下さい。

詳細については、中央公民館内事務局へどうぞ

（発起人代表　砂井春一）

目標達成!!
さあ　次の目標へ

（体力づくり　一〇〇日運動）

矢代田の江川美穂子さん（六十三才）が、目標達成しました。

これからもがんばって下さい。

【青年通信】
C・つくしんぼ県青年祭で
「優秀賞」に輝く
～出し物は「ごんぎつね」～

去る三月七日、第三回新潟県青年祭が、新装なった三条市中央公民館で開催され、我がC・つくしんぼも参加してまいりました。

今年から人形劇部門が新たに設置されたということで、参加依頼がきたのが開催日の約一週間前でした。何しろ練習期間が一週間しかないということで反対する者もいましたが、意見格闘の末全員の気持ちを一つに結集し、公演日に向けてダッシュしました。出し物は一昨年上演した「ごんぎつね」にきまり、公演日までの一週間は毎日、々々、汗だくになっての猛練習が続き、みんな必死になって頑張りました。

当日は、演劇、人形劇意見発表、それに美術工芸作品展など各部門で賞を競い合いました。

我がサークルの必死の努力が実ったのか、みんなの願いが審査員に通じたのか、なんと人形劇部門で「優秀賞」に輝いたのです。賞と名のつくのをいただいたのは今回が初めてだっただけに、みんな多少興奮ぎみ?だったようです。

当日の公演は、舞台装置、劇、撤去の時間を含め五十分と持ち時間が定められており、また会場が五百席もある大ホールとりっぱなステージの為か、さすがにみんなの緊張の顔は隠せなかったようでした。

今回のこの貴重な体験で、つくしんぼも一歩前進したようです。今回だけに留まらず、今後も機会があったら積極的に参加していきたいと思いますので、皆さんも応援して下さい。

図書だより

◇学習まんが　小学館
日本の歴史一～五巻
◇学習まんが　集英社
日本の歴史一～六巻
◇日本大歳時記　新年
〃　春
〃　秋
〃　冬
◇吉里吉里人　井上ひさし
◇十万分の一の偶然　松本　清張
◇隣りの女　向田　邦子
◇雨が好き　高橋　洋子
◇私の台所　沢村　貞子
◇伸ばすことば
ダメにすることば　川合　月海
◇脱帽賞　福地　泡介
◇火の虎像　笹川　左保
◇土からの医療
◇鍬と聴診器　竹熊　宜孝

こどもクイズ
さあ!考えて?

つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ～答え・住所・氏名・学年クラスをはっきり書いてハガキで送って下さい。正解者の中から五名の方に賞品をお贈りします。

一問　シンデレラ姫がお城に忘れてきたのは□□□のクツ。

二問　シンデレラ姫がお城に乗っていったのは□□□□の馬車。

前号の正解は
一問　ボチ　二問　青
三問　りんご

抽選の結果、次の方々に賞品をお贈りしました。

花園一　高山通史幼稚園
新町四　玉井　康時三年
大川前五渡辺　哲也〃
文京一　四柳　宏四〃
水田　市村　明子六〃

中学生文芸

〈俳句クラブ〉

軒下の氷柱朝日に輝けり　小柳　唯子
氷柱よりしたたる雫の輝ける　巌　久美子
日射し受けしたたり落ちる氷柱かな　森田十四夫
白く光る霧氷の朝に登校す　長井　正徳
陽光に輝く樹氷眩くて　川瀬　和美
日の光輝き返す大氷柱　粂　広美
雪溶けて通学路もほこりっぽく　佐藤　勇一
指先も凍みわたるよな通学路　響田　嗣恵
軒下に傘の柄ほどの氷柱かな　間野佳代子
射げき場音もかすかに冬の山　保科七美子
卒業も間近かに迫る日薄日差す　城丸　泉
朝夕に歌うたう声卒業期　島倉はるみ
卒業生不安と嬉しさ入り混り　長沢加代子
卒業生送る劇の練習し　吉沢　正
卒業期机に刻むわが名前　吉田　一人
卒業期体育館のボールの音　吉沢　浩二
黒板に書かれし日数後わずか　小柳　唯子
それぞれに道を分かちて卒業す　間野佳代子
卒業に交換日記の終わるなり　粂　広美

二月句会報
小須戸町俳句同好会

陽がさせば児は喜々と出る雪間晴　四山
改札の合い間に雪を掻きもする　庄三郎
室の花末子の婿の整へり　久子
松竹梅菊のみかえて小正月　としこ
大寒に佇ち身構えて句を記す　太浪
文字書けずなりしと友の賀の電話　松山
咲きなずむ冬の牡丹の玉蕾　露春
一月を惜み乍らも磨切る　香月
暖冬やテトラポットの波頭　林哉
南天の実はことごとく冬鳥に　紀男
つくろいを崩さず田母木の吹雪著る　ミナ
炬燵でて護符売る山の堂守女　蒼穹
蛇口凍つ後の誰れかが締め切って　樫男
囁くがごと雪打てり夜の湯窓　良遊
田ひばりのまた戻りくる雪の畦　芳人
撮さるる孫と等身雪だるま　虚秋
若水を汲む川底の石座る　可津朋
吾れこのむ夜勤の明けし雑炊餅　松男
影長き貨車が冬田を曳いて発つ　秀穂
日脚伸びぬ夕日の位置の少しずれ　石秋
雪落ちて枝細やかに弾みけり　冨沙子

本町通り
我妻　清　作

如月の雪払いつつ古びたる雁木の下に桜餅購う